



# 京都 YWCA

# 1 2025

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

## 第3回「地球にやさしい人ともものをつなぐプチマルシェ」 若者たちと協働し、人々の出会いの場を実現

10月19日、小雨交じりの空模様でしたが、久々に京都 YWCA の会館内が賑わいを見せました。「やってよかった!! 疲れたけれど本当にやってよかった」。これはある委員の言葉です。企画と準備の段階から携わった人は皆、同様の感想を持っています。京都 YWCA のファンドレイジング委員会が主催し、この3年続けてきた「地球にやさしい人ともものをつなぐプチマルシェ」は、回数を重ねるごとに、新しい展開を目指してきました。

### 長年続けたスリフトセールの精神を受け継いで

このプチマルシェの核となるリサイクル（スリフト）セールは、40年以上続けられて2018年度末で終了したスリフト（儉約）セールの精神を受け継ぐ形で始まりました。

コロナ禍の中の2020年10月17日に「秋のプチスリフトセール」を、さまざまな制限（来場者数、予約制、3回に分けた入場やスタッフの人数制限など）をかけて、感染症対策に細心の注意を払いながら開催しました。その後にロビーでの常設販売も開始しました。寄贈いただく物の募集から整理作業、保管場所の確保など、課題の解決に試行錯誤を重ねながら続けています。このリサイクルセールは、会館の外壁に掲げたのぼりの効果もあり、魅力と価値に気づいた地域の方が、ロビーでお買い物されるようになりました。京都 YWCA にとっての貴重なファンドレイジングの場になっています。

### 内外の多彩なグループや人々が出店・参加

当日の出店者の顔ぶれは、日頃からおつきあいのある福祉作業所・就労支援事業所、有機農産物供給団体、アフガニスタンの支援を行うNPO、環境・オーガニックにこだわったお店、着物のリフォームなどに加え、京都 YWCA 内の委員会やグループなどからの出店や、京都 YWCA 高齢者住宅「サラーム」の居住者の手作り品の展示もあり、多彩なものになりました。今回から、京都 YWCA に集う若者（子どもと若者の居場所「YここKitchen」や自立援助ホーム「カルーナ」に関係する人たちが、餃子とおにぎりとコーヒーなど食事部門を担当し、あじさい寮に9月から入寮した留学生数名も売り場のお手伝いで参加してくれました。

そしてファンドレイジング委員会が、季節の衣類や食器、雑貨、アクセサリー、スカーフなどのリサイクルセールを担

当しました。販売しているものは、どれも一点もの。昔のスリフトセールの長年のお客さん同士で、再会を喜び合う場面がいくつもありました。

地域の方々にも長年親しまれてきた「あじさいバザー」や「クリスマスバザー」によく来場したという方は、京都新聞の催し案内の記事を見て、遠方から足を運んでくださいました。

さまざまな媒体で情報を得て集った方々が、京都 YWCA で出会い、交流し、「人ともものをつなぐ」という言葉どおり、わくわくする催しとなりました。出店者から提供いただいた賞品の「お楽しみ抽選会」では、ロビーが人であふれました。久々に感じた賑わいでした。

（ファンドレイジング委員会 弘中 奈都子）



賑わうマルシェー 久々の再会を喜び、会話が弾みますー



## 第34回 YWCA 全国会員総会 ～ コロナ禍を経て8年ぶりの「再会」～



4年に一度の全国会員総会が、11月23、24日に国立オリンピック記念青少年総合センターとzoomのハイブリッドで開催されました。対面参加での開催は8年ぶりです。会場は全国24の地域YWCAの会員であふれ、「はじめまして」「お久しぶり」と笑顔の花が咲きました。

京都YWCAの参加者は8名。YWCAの名に恥じず半数がユースでした。他地域YWCAの人たちに「若い人を送りだしてくれてありがとう」「頼もしい」という感謝や励ましの言葉をいただきました。京都YWCAはシニア会員層もまた豊かです。地域YWCAの活動を支えてきた83歳以上の会員に授与されるY's Wonderful Women賞に、勝山久仁子さん、山村一代さん、吉田紀子さんを推薦することができました。総会内で行われた授与式には、山村さんが駆けつけてくださいました。受賞者からYWCAへの想い、ユースへのメッセージが伝えられ、世代を超えて「YWCA魂」が手渡されたようでした。

### 新しい会員制度でYWCA運動の火を燃やし続ける

今回の全国総会では4年間の報告と今後の計画についての議事があり、中でも「新しい会員制度」に関する提案は関心が高く、活発な質疑応答や意見交換を経て決されました。日本YWCAに登録し地域を越えてYWCA

の活動に参加することができる「ウェブ会員」が新設されます。京都YWCAでも次年度運営委員会体制が大きく変わります。初めての試みは運用が始まらないとわからないことも多いです。しかし、コロナ禍を含む社会の急激な変化に対応し、YWCA運動の火を絶やさず引き継いでいくために、日本YWCA新会長の樋口さやかさんと一緒に全国のYWCA会員がチャレンジへの決意を共有する全国総会となりました。

(京都YWCA ミッション推進活動運営委員会)



京都YWCAからの参加メンバー  
Y's Wonderful Women 賞受賞の山村さんを囲んで

## オープン10周年 シリーズ「うららかふえ」こぼれ話⑤

### ～ランチの仕入れ、お世話になってます！！～

早朝の京都中央卸売市場鮮魚店。「毎度！」「今日のおすすめ！」威勢のいい掛け声から始まる。

当市場では、月に一度一般市民に向けて「食彩市」を開催していた。4年前コロナ禍から取り止めとなり諦めていたところ、「かまへんおいで」と手を差し伸べてくれたのが、現在通っているお店である。大方は料理店の買い出しに来られ、お魚を数種類や箱買いでの注文をしてさっさと帰られる。私はたとえば、箱買いは半分を分けてもらい、一匹のお魚で片身をお造り用、もう片身を焼き用にと、面倒なことをお願いしている。また、うららかふえ用のお魚は値段の上限を決めて、範囲内で買えない場合はやめておくが、ほとんどの場合、店主が「おまけ」してくれて買うことができている。お魚の下処理もしっかりしていただいている。

うららかふえの仕入れはこの店のお蔭で成り立っている。手間はかかるわ、儲からないわ、本来なら来てほしく

ないお客である。本当にありがたく心から感謝している。

お魚のちょこっとガイドも。「鰹の骨切」を機械でやっているところもあるが、「機械でやったら、まっすぐの骨切になる。包丁で斜（はず）に切らないと味が変わる」と言っていて、包丁で「シャリシャリ」と骨の切れている音が心地よい。

さて、ランチのメニューは、その時の出会いにもよるが、なかなか目新しいメニューが浮かんでこない。店主の気持ちに伝えるためにも、「美味しい魚のお料理を提供したい」と思いは募るばかりである。

(一色 光世)



かふえ用の魚を仕入れる  
中央卸売市場の魚屋さん

## 多文化共生委員会の秋の取り組み

### 東九条マダンにタイカレーを出店

11月3日(日)元陶化小学校で第32回東九条マダンが開催された。このお祭りは、朝鮮半島にルーツを持つ人たちを中心にさまざまな文化的背景を持つ人たちが交流する場である。京都YWCAは8年ぶりに多文化共生委員会として出店した。以前と同様、タイカレーとコーヒーを販売し、器は使い捨てではなく、返却してもらえば100円を返金するという形を取った。売上げは別として、私たち自身も互いの交流の場、また、旧知の人たちとの再会の場として楽しむことができた。

京都以外の地域でも朝鮮半島をルーツとした人々のお祭りは行われていたが、現在も続いているのは京都の東九条マダンだけだそう。その理由は、東九条マダンは常に地域の人びとと共に歩むことを重視してきたからだと聞く。地域の大切なお祭りとして今後も続けていくことを願っている。

(安藤 いづみ)



東九条マダンでタイカレー出店

### 「多文化子どもプログラム」秋の一日、BBQで楽しむ

10月14日の祭日。多文化子どもプログラムでは、今年度なかなかできずにいた社会体験プログラムを岩倉村松の山の中で、バーベキュー(BBQ)大会として行うことができました。そこは、元APT(多言語電話相談グループ)メンバーの仲間さんのご紹介による「大人の居場所・秘密基地」として活動している「まつたけ山復活させ隊ベースキャンプ」。すてきな場所でした。

子どもたちはもちろん、家族や研修生たちも一緒に、お肉に野菜にパンにと、お腹いっぱい、ほほえみいっぱい食べて楽しみました。ともに作り、ともに食べるうちに喜びとつながりが深まりました。

ここは、まさに秘密基地——親子で薪割りをしたり、裏山の松茸が採れる低山に「落ちるー!すべるー!」とキャーキャー言いながらの登り降り。笑顔はじける、少し暑い秋の一日となりました。

(浅野 献一)



## 活動グループ紹介シリーズ③

### 「聖書に親しむ会 火曜日」

15年以上続けてきたこの会も本年度で閉じるようになりました。最初は委員会に組み込まれていましたから、職員と一緒に学ぶ機会に恵まれました。この間、会員の入れ替わりがあり、クリスチャンでない方も増えましたが、今までYWCAの基盤であるキリスト教や聖書とは関わりを持ってこられなかった方々にもそれを学び、親しんで頂きたいとの想いで続けてきました。

聖書はイエスの弟子たちがイエスの言葉を文字として残し、続く世代がそれを読み、その時代の言葉で書き記されてきたものです。「聖書に親しむ会」は聖書を学ぶことを通して、今の私たちの在り方を知る事にも繋がってきたのではないかと思います。イエス様が生きていたらどうなさるだろうかと考え、常に現代を生きる私たちは問い掛けられ、それをYWCAの基盤の指し示す道として皆で共有しようとしてきたと思います。

キリスト教の「神のもとの平等」は神に愛されるという意味では人は全て平等なのだ伝えており、現代の法にも形を変えて取り入れられています。私たちの生活の

中にもジェンダー、貧富の差、仕事、国籍、人種などさまざまな壁があります。このような社会の壁も時間がかかっても突破する可能性をもつこの基盤を大切に、YWCAが社会の中で女性たちが生き生きと頑張れる力の源になっていくことを心より願っています。

今まで与えられてきました時間と場所、講座を支えて下さった牧師先生方(田邊由紀夫先生、北川義也先生、須賀工先生、大橋新・茉莉耶先生)、職員の皆様に感謝しありません。本当にありがとうございました。

(畠中 隆子)



ご協力ありがとうございました

2024年10月1日から11月30日までの寄付者一覧(敬称略、順不同)

各指定寄付

**\*親・子育て支援活動委員会**  
親子ライブラリー

**\*APT**  
リンパヤラヤ・スプレーニー、川島康史、杉山知子、上原従正、飯田奈美子、清水弥生、神門佐千子、安藤いづみ、ヘイナ啓子、有田孝子、高山亨、上内鏡子、上村聡巳子、中村和雄、匿名1名

**\*活動グループ**  
手話サークル

**\*多文化共生委員会**  
同志社女子高等学校、筒井奈都子、友岡文

**\*ファンドレイジング委員会**  
ちくちくかふえ

**\*ふれあいの「居場所」事業部委員会**  
若者就職支援まかない募金、多田節子、篠田茜、上村聡巳子、豊山汀比呂、瀬口尚子

**\*平和・環境活動委員会**  
松田千治、弘中奈都子、米田量、安藤いづみ

**\*ユース委員会**  
小室京子

**\*自立援助ホーム「カルーナ」**  
吉田紀子、日本聖公会京都教区婦人会、瀬口尚子、斉藤洋子、有田孝子、社会福祉法人西陣会、舩越克真、澤井聡子、近藤八津子、匿名1名

**\*賛助費**  
吉田繁、上村剛士、窪田左知己、日月公子、小室京子、出店部

**税理士法人有田事務所**

税金のことでお困りの時は  
ご相談ください

京都市上京区武者小路通烏丸西入栞屋町 468  
URL <http://www.aritax.jp>

aritax 検索  
で一発です! 075-451-5178

★テレビで見かけた話題の文具  
★行事で使うノベルティ商品  
★プレゼントに適した商品

事務機・事務用品の事ならなんでもご相談下さい。

**株式会社 正美堂**

FOR OFFICE AMENITY

京都市中京区壬生坊城町25番地  
TEL: 075-841-4371 FAX: 075-811-6590  
URL: <http://www.syobido.jp/>  
阪急電車京都市線「大宮駅」下車  
西出口から出て、四条通り沿いに徒歩4分(北側)

今後のプログラム

◎ 2・11 集会

- 日 時：2025年2月11日(火) 14:00～16:00
- 場 所：京都YWCA ミニホール
- 講 師：朴君愛(パク・クネ)さん
- 内 容：国連女性差別撤廃委員会に参加して
- 参加費：500円(寄付つき1,000円)
- 主 催：平和・環境活動委員会

◎ピーター・バラカンDJライブ

- 今年度もDJライブを行います。ご期待ください!
- 日 時：2025年2月22日(土) 14:00～16:00(開場13:30)
  - 場 所：日本聖公会聖アグネス教会
  - チケット：一般 前売り2,800円 当日3,000円  
中高生・障がい者 1,800円
  - 主 催：ファンドレイジング委員会

◎第103回定期会員集会

- 日 時：2025年3月1日(土)
- 場 所：京都YWCA あじさい保育園ホールおよびオンライン
- 主 催：ミッション推進活動部門運営委員会

◎公開講座「対話と尊重の文化を作る：修復的対話実践」

- 日 時：3月15日(土) 13:30～16:30
- 場 所：対面、オンライン
- 講 師：毛利真弓さん(同志社大学心理学部准教授)
- 共 催：関西セミナーハウスおよび自立援助ホーム「カルーナ」事業部委員会

お詫びと訂正

2024年9月号に掲載の寄付者一覧に誤りがありました。  
誤：自立援助ホーム「カルーナ」定本ゆきこ 様  
正：自立援助ホーム「カルーナ」定本ゆきこ 様  
お詫びをし訂正致します。

京都YWCA サービス付き高齢者向け住宅サラム  
入居者募集中!  
詳細は二次元コードよりHPをご確認いただくか、  
お問合せください。



11・12月/理事会報告

- 1/2期決算と年度末見込みについて協議
- クリスマス・ニューイヤー募金チラシを発送
- 11/23～24：日本YWCA全国会員総会に運営委員が参加(本紙P2参照)
- 京都YWCAのリーフレット、高齢者住宅「サラム」のパンフレットを改訂した。

- 遺贈寄付のためのリーフレットを作成
- 事業部の2025年度からの中期(5年)計画について継続して協議している。
- 定期会員集会準備委員会を立ち上げた。

KYOTO YWCA No.584 2025年1月号(1月1日発行)

発行人：山中あかね  
発行所：公益財団法人京都YWCA  
〒602-8019  
京都市上京区室町通水上ル近衛町44

電 話：(075)431-0351  
F A X：(075)431-0352  
e-mail：office@kyoto.ywca.or.jp  
H P：http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替：01080-9-1566  
口座名義：(公財)京都YWCA  
定 価：1部50円  
発 行：奇数月1日発行